

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域と職域の連携の推進を図ることは、生涯を通じた地域住民の健康保持増進につながる。
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		地域保健及び職域保健における喫緊の課題である生活習慣病の予防を推進するため、特定健診・特定保健指導の実施率の向上、がん検診の受診率の向上等に対する取り組みや自殺対策については、地域と職域が連携した取組が必要であり生涯を通じた支援が重要である。このため、本事業により、引き続き推進すべきものと判断。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き予算の効率的な執行に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

平成22年度

厚生労働省
48百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者
の指導監督等

【補助】

A. 都道府県・政令市
54自治体 48百万円
(上位10者)
1 静岡県 4. 3百万円
2 千葉県 3. 4百万円
3 宮城県 1. 8百万円
4 埼玉県 1. 7百万円
5 長崎県 1. 7百万円
6 香川県 1. 6百万円
7 和歌山県 1. 6百万円
8 三重県 1. 5百万円
9 山口県 1. 5百万円
10 宮崎県 1. 4百万円

地域・職域連携推進事業の实地

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.. 静岡県			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
報償費	連絡会・協議会等委員報酬	2			
その他	協議会資料印刷費、協議会委員旅費等	3			
計		4	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト
A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県	地域・職域連携推進事業の実施	4		
2	千葉県	地域・職域連携推進事業の実施	3		
3	宮城県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
4	埼玉県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
5	長崎県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
6	香川県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
7	和歌山県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
8	三重県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
9	山口県	地域・職域連携推進事業の実施	2		
10	宮崎県	地域・職域連携推進事業の実施	1		